

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

円形脱毛症診療ガイドライン 2024

円形脱毛症診療ガイドライン策定委員会(委員長 大山 学 杏林大学医学部皮膚科学教室)

日本皮膚科学会雑誌 2024 年 134 巻 10 号 2024/09/20 発行

Minds 掲載 無

Grading Scale of Strength of Evidence

A: (高い) 結果はほぼ確実であり、新たに研究が行われても結果が大きく変わる可能性が低い

B: (低い) 結果を支持する研究はあるが十分ではなく、新たに研究が行われた場合に結果が大きく変わる可能性がある

C: (とても低い) 結論を支持する質の高い研究がない

Grading Scale of Strength of Recommendation

1: 強い推奨 推奨された治療により得られる利益が大きく、かつ、それによる負担を上回るため行うよう勧める

2: 弱い推奨 推奨された治療により得られる利益の大きさや有効性・安全性は不確実である、あるいは治療によって生じる害や負担と拮抗していると考えられる

3: 推奨しない 判断の根拠となる情報の普遍性に乏しい

■1 漢方薬

疾患:

円形脱毛症

CPG 中の Strength of Evidence:

C: (とても低い)

CPG 中の Strength of Recommendation:

3: 推奨しない

引用など:

- 1)山口全一, 馬場俊一, 鈴木啓之. 各種皮膚疾患に対する医療用漢方製剤の使用経験 - 証によらない投与法と随証投与法との比較検討を中心として-. *医学と薬学* 1983; 10: 299-31.
- 2)中島一. 特集 皮膚科疾患(II) 円形脱毛症の漢方治療. *現代東洋医学* 1992; 13: 26-30.
- 3)大草康弘. 円形脱毛症における柴胡加竜骨牡蛎湯の使用経験. *漢方診療* 1997; 16: 24-26.
- 4)大熊守也. 脱毛症に対する漢方内服、液体窒素、PUVA 併用療法. *和漢医薬学雑誌* 1995; 12: 438-9.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ19 漢方薬内服療法は有用か』の解説に以下の記載がある。

『4 報の症例集積報告があるが, 脱毛面積, 評価基準, 再発の有無, AA でみられる自然治癒率をしのぐ効果があるのかなどが明確でない. 比較的大規模な試験はあるものの, 5 種もしくは 10 種の薬剤を「漢方薬」として一括してその効果を検討しており, 各々の薬剤の効果を判断することは困難である』